

今日のトピック 今年のマーケットを振り返る3 日本株式市場 業績回復から堅調、好業績の小型株に物色の矛先

ポイント1 業績回復を支えに堅調も海外市場には見劣り

- 2021年の日本株式市場は堅調な展開となりましたが、大きく上昇した海外市場との比較では見劣りする頭の重い展開となりました。
- 製造業を中心に好業績を映して年初から株価は上昇し、一時は日経平均株価で約30年ぶりの高値を付ける場面もありました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大による景気の失速、中国市場の動揺、菅内閣の支持率低迷による政局不安への懸念などから、総じて伸び悩む展開となりました。

ポイント2 好業績の小型株、海運株、アクティビスト関連株が好調

- 今年の日本株式市場（TOPIX採用銘柄）の騰落率上位を見ると、業績が上振れた小型株が多くを占めました。登山・キャンプ用品のスノーピーク、戸建て住宅分譲のケアイスター不動産、賃料保証サービスのジェイリースなど、いずれも事前予想を上回る決算を受けて大きく上昇しました。
- 大型株では海運市況の高騰から大幅増益となった、日本郵船や川崎汽船などの海運株が騰落率上位にランクインしました。
- 今年は「物言う株主」の動きが注目を集めた1年でもありました。投資ファンドによる買収期待が高まった新聞輪転機製造メーカーの東京機械製作所は約4.8倍に、大株主からの株主提案に対抗して自己株TOBを発表したNCホールディングスは約2.5倍に、それぞれ上昇しました。

【TOPIX採用銘柄の騰落率トップ20】

順位	銘柄名	騰落率	業種
1	東京機械製作所	376.3%	機械
2	スノーピーク	307.1%	その他製品
3	日本郵船	239.7%	海運
4	ケアイスター不動産	237.3%	不動産
5	ジェイリース	231.8%	その他金融業
6	ミタックホールディングス	223.6%	サービス業
7	川崎汽船	190.7%	海運
8	エンビプロ・ホールディングス	186.5%	鉄鋼
9	クロス・マーケティンググループ	185.4%	情報通信
10	恵和	182.6%	化学
11	ベikalent・コンサルティング	173.9%	サービス業
12	エアトリ	169.6%	サービス業
13	アグレ都市デザイン	166.3%	不動産
14	TREホールディングス	163.4%	サービス業
15	トレックス・セミコンダクター	162.6%	電気機器
16	デサント	159.7%	繊維製品
17	N Sユナイテッド海運	157.0%	海運
18	デクセリアルズ	153.9%	化学
19	N Cホールディングス	152.6%	機械
20	日本電波工業	145.4%	電気機器

(注) データは2020年12月31日～2021年12月3日。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

ここもチェック! 2021年12月7日 日経平均株価のアノマリー～年度末までの上昇確率は7割強 2021年12月3日 割安感強まる日本株、内需復活で整う反騰の条件

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。